

保育界

2014

3



発行 日本保育協会

次の4月号から、本誌は横組みに変わります

園児の社会性を育む園庭のかたち —コーボルドランド幼稚園・保育所（ドイツ）—

公益財団法人 日本生態系協会
教育研究センター長 田邊龍太

子どもの思いやる心、命やものを大切する心を育むためには、自然の恵みを生かした保育環境づくりが大切になります。ここでは、そうした環境づくりを積極的にすすめる海外の事例をご紹介します。



『私たち人間も生きものであり、自然と切り離されて生きていくことはできない』
『友達同士で様々な遊びが創造できる空間を提供し、社会性を育みたい』

この園で自然を生かした保育環境づくりを目指したのは、上記の思いからでした。園庭に樹林と丈の短い野草が生える草地をつくり、その中に自然の素材によるアスレチックや、木登り用の木も設置しました。

園児は、楽しいことが大好きです。この園では、毎日、お気に入りの場所で、友達同士で様々な遊びをつくり出しています。そうした遊びの中で、自分の意見を主張したり、友達の意見を受け入れたりし、園児は人間関係のあり方を学んでいきます。保育者は、園児同士の自由な発想での遊びをととても大切にしており、活動プログラムを提示するときにも、そうした遊びを妨げてしまわないように気をつけています。

■日本保育協会ほか後援『自然とのふれあいを大切にする園づくりツアー2014』

今回は、ドイツとオーストリアにおいて、自然を生かした保育環境づくりを熱心に取り組む保育所・幼稚園、そうした取り組みを積極的に支援するバイエルン州政府の施設など8カ所を訪問します。

詳細は、日本生態系協会のサイト (<http://www.ecosys.or.jp/>) をご覧ください。

旅行期間：平成26年7月14日（月）～20日（日）7日間

募集人員：20名（最少催行人員12名）

訪問都市：世界遺産都市ザルツブルグ、風光明媚なミースパッハ、
宮廷文化の中心地ミュンヘンほか

企画：（公財）日本生態系協会（TEL 03-5951-0244）

